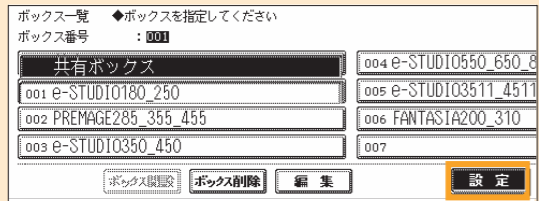


ファイリングボックスから保管文書を印刷する

1 操作パネル上の「ファイリングボックス」ボタンを押します

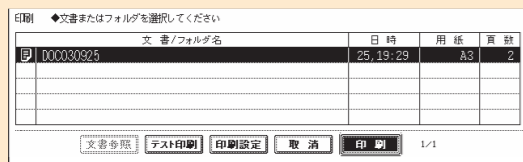


2 印刷したい文書が保存されているボックスを選択した後、「設定」ボタンを押します



3 印刷したい文書を選択します

(ボックスの下のフォルダ内の文書を選択する場合は、該当するフォルダを選択した後、「フォルダを開く」ボタンを押してから印刷したい文書を選択します)



4 印刷ボタンを押します

印刷設定 …印刷時の細かい設定が可能です

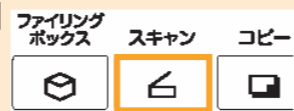
- ・片面→両面コピーの設定
- ・とじしろ→とじしろ幅の設定
- ・ソート→ステイブル等の設定
- ・日付・時刻付加→(オプション装着時) 日付と時刻の印字
- ・胴内排紙→排紙先の設定
- ・ページ付加→(オプション装着時) ページ番号印字の設定



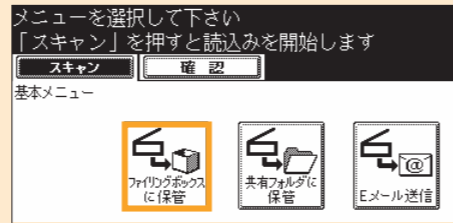
テスト印刷 …先頭頁や全頁等、文書を1部印刷することができます

スキャンしながらファイリングボックスに原稿を保管する

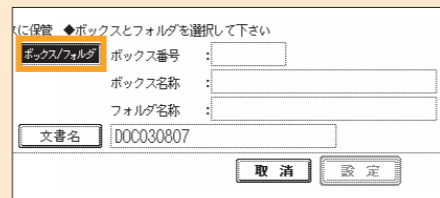
1 操作パネル上の「スキャン」ボタンを押します



2 「ファイリングボックスに保管」ボタンを押します



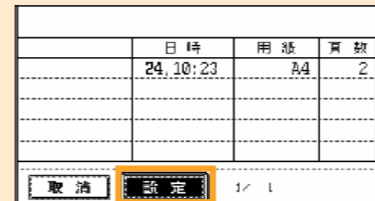
3 ボックス/フォルダボタンを押します



4 保存先ボックスを指定し、「設定」ボタンを押します



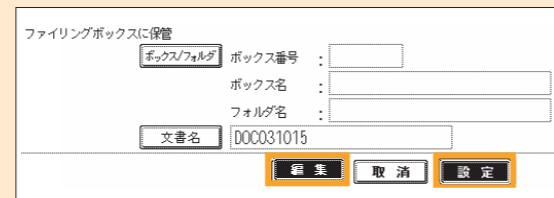
5 選択したボックス内の文書一覧が表示された画面で「設定」ボタンを押します



(ボックスの下のフォルダ内に文書を保管する場合は、該当するフォルダを選択した後、「フォルダを開く」ボタンを押してから「設定」ボタンを押します)

6 設定ボタンを押します

(スキャン機能から保管の場合は→手順8へ必要に応じて「編集」ボタンから、読取り条件を変更できます)

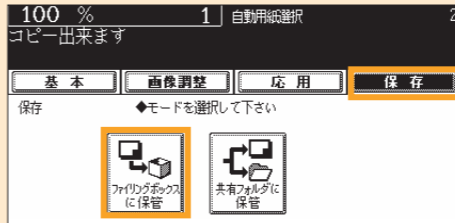


コピーしながらファイリングボックスに原稿を保管する

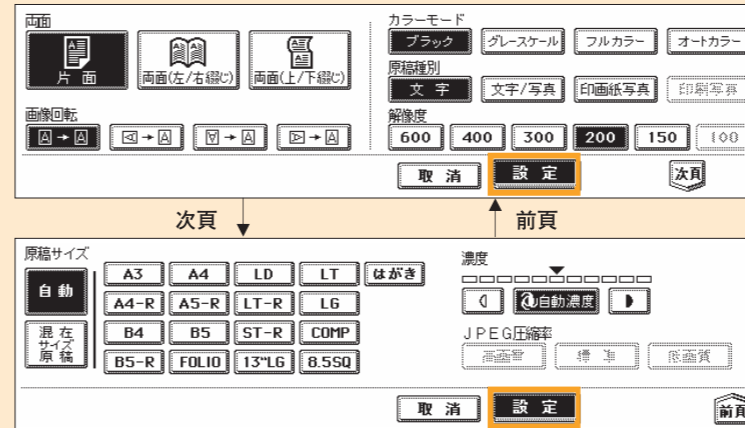
1 操作パネル上の「コピー」ボタンを押します



2 「保存」タブを押し「ファイリングボックスに保管」ボタンを押します
(カラーのモード選択等は、「基本」タブの画面から設定を変更することができます)

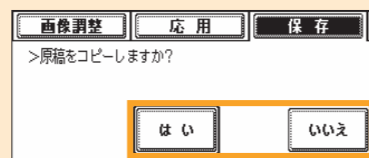


スキャン機能の読取り編集画面 (変更後は「設定」を押します)



7 コピー機能から保管する際は、原稿をコピーするので、「はい」を選択します

(原稿の保管だけを行う場合は「いいえ」ボタンを押してください)



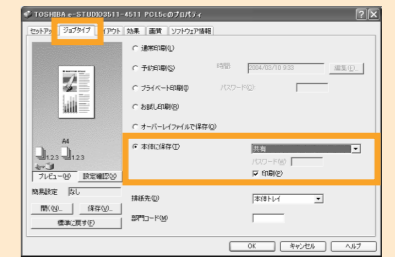
8 原稿を自動原稿送りにセットし、「スタート」キーを押します



ガラス台に原稿をセットする場合…

- 全ての現行の読取りが終了するまで、
- [1]原稿のセットします
- [2]スタートボタンを押します
- [1],[2]を繰り返します
- 全ての原稿の読取りが終了したら、「次原稿なし」ボタンを押します

パソコンから印刷しながらファイリングボックスに文書データを保管する



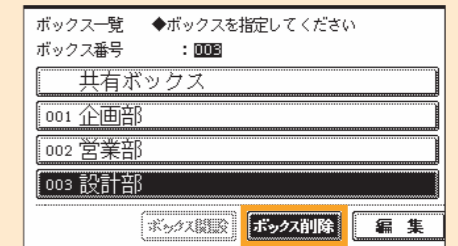
WordやExcel等の印刷プロパティ画面から「ジョブタイプ」タブを選択すると、ファイリングボックスへの文書保管ができます(印刷をせずに、保管だけすることもできます)

ユーザボックスとボックス内の文書を削除する

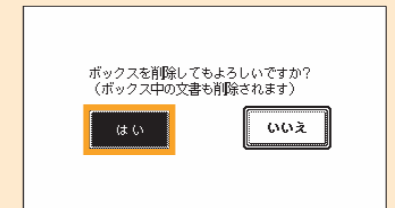
1 操作パネル上の「ファイリングボックス」ボタンを押します



2 削除したいボックスを選択した後、「ボックス削除」ボタンを押します



3 「ボックス削除をしてもよろしいですか?」と表示されます。そのままボックスとボックス内の文書を削除する場合は「はい」ボタンを押します



共有ボックスは削除できません
フォルダや文書のみの削除はパソコンからWebユーティリティを使用して削除します
取扱説明書参照ページ: ファイリングボックスガイド→P28,49